

安全工学シンポジウム2021

ウイズコロナ時代の安全・安心

「安全工学シンポジウム2021」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。

〔日時〕 2021年6月30日(水)～7月2日(金)

〔会場〕 オンライン開催

特別講演 7月1日(木) 13:00～14:00

基調講演 7月1日(木) 10:00～10:40

COVID-19と建築空気環境

大岡龍三 氏(東京大学生産技術研究所 教授)

“産業安全行動分析学”の原理に基づく、 新たな生活習慣、有益な生産活動のために

北條理恵子 氏(労働安全衛生総合研究所)

パネルディスカッション

- PD-1 ウイズコロナ時代の安全・安心(連携PD)
- PD-2 化学物質管理が創る安全・安心な社会～SAICMの社会実装
- PD-3 リスクアプローチは、どこまで可能性に迫れるか?

オーガナイズドセッション

- OS-1 ノンテクニカルスキル教育の今後を探る
- OS-2 レジリエンス・エンジニアリングと安全諸理論
- OS-3 人災の視点からの防災対策
- OS-4 水素エネルギー技術の社会実装におけるリスクを考える～水素ステーションを中心に～
- OS-5 危機管理における労働・地域・セキュリティ等のレジリエンス向上を目指す手法の開発と課題
- OS-6 産業安全行動分析学を用いた機械安全の考え方
- OS-7 外部要因による事故・災害(自然災害、人災)への対応
- OS-8 需要設備のスマート保安に関する最新動向
- OS-9 安全性設計と信頼性設計
- OS-10 土木工学における安全問題
- OS-11 組織行動からの事故などの未然防止
- OS-12 自動運転の社会実装に向けた取り組み
- OS-13 避難が難しい人の火災時の避難安全を考える
- OS-14 安心感側からみた「安全と安心」
- OS-15 風水害への航空宇宙分野からの取り組み

予稿集販売

予稿集(PDF版)をご希望の方はインターネット登録にて5,000円で販売致します。
(但し、学生は1部2,000円)。※クレジット決済でのお支払いとなります。

主催:日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会
共催:日本建築学会 他33学協会

問い合わせ先:安全工学シンポジウム2021事務局
一般社団法人 日本建築学会
[E-mail] anzen@gakkai-web.net

プログラム等の詳細は、<https://www.anzen.org/>をご覧ください

事前登録必要

参加費無料